

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Reading		
英文授業科目名	Academic Writing		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	梶本 裕之, 奥 浩昭		
居室	西3-401(梶本)、東1-805(奥)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kajimoto@hc.uec.ac.jp	http://www.oku.hc.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>【主題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平易な構文や語彙を用い、要旨を英語で表現できる。 <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文の要旨 (Abstract) 約10行を英語で表現できるようになる。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
プリント使用(予定)

【授業内容とその進め方】
<p>担当: 【前半】(梶本) 【後半】(奥)</p> <p>【前半】(梶本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の理工系の論文を読みながら、論文の要旨を表現するのに最重要の構文や語彙を学びます。 <p>【後半】(奥)</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

- ・毎回、論文の要旨を表現するのに最重要の構文や語彙を学びます。
- ・その際、formal な表現と informal な表現の違いに注意を喚起します。

【全体を通して】（言語自習室での教室外学習）

ALC NetAcademy や「リズム学習」等：言語自習室での学習。この学習は非常に重要です。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

【評価方法】

- ・予習、授業での発表、レポートまたは（及び）試験により行う。

【評価規準】（奥）

- ・予習：2割
- ・授業での発表：3割
- ・レポート：2割
- ・試験：3割

【評価基準】

最低達成基準：学期末試験で次の試験を課し、50点に達していること。

英検2級レベルの英語で書かれた科学記事を読み、要旨を記すとともに、それに対する意見を「序・本・結」の形で表す。

【オフィスアワー：授業相談】

（奥）月・火5限：言語自習室（F101）で、主に英語学習の相談を受けます。

【学生へのメッセージ】

【1】キャッチフレーズ

- ・使わなければものにならない。
- ・If not now, when? If not here, where?

（今しなくて、いつ? ここでしなくて、どこで?）

- 【2】「基本構文、基本動詞、基本語彙」を用いて、辞書を引かなくても何かを表現できるようになるまで、努力を惜しまないようにしよう。

【その他】

英検準1級のレベルに達し、TOEIC730点を取ろう！